

第1回 瑞穂市地域公共交通会議・会議録

日時 平成21年11月9日(月) 午前10時から正午
場所 瑞穂市役所穂積庁舎 3階大会議室
出席委員 会長 倉内 文孝 副会長 迫田 義一
富田 尚之 山田 芳喜
西村 盛夫 宇野あきゑ
福田 泰尚 中島喜久夫
野村 幹也 福富 保文
小窪 貞夫 豊田 正利
安部 樹(岡田 芳和代理)
欠席委員 下條 晋 東海 龍毅
事務局 総務部長 新田 年一 総務課長 広瀬 充利
総括課長補佐 平塚 直樹 課長補佐 小森 順子
課長補佐 伊藤 巧 主査 野田 秀樹
補助職員 池本 貴子
傍聴人 0人

1. 開会

(事務局)

只今から第1回瑞穂市地域公共交通会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。後ほど、会長に議長をお願いいたしますので、それまでの間、進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

2. 委員の委嘱

<市長から委嘱状を交付>

3. 市長あいさつ

(市長)

皆様には、日頃から瑞穂市の公共交通をはじめとして、市政に関して、多大な協力を賜っております。

さて、近年、多くの自治体において、社会の変革、とりわけ少子高齢化の時代の要請に対応すべく、公共交通機関の整備をしておりますし、どの自治体においても、その運営に苦慮していることもご案内のとおりです。

本市においても、みずほバスが3路線で運行をはじめたのが、平成16年10月1日ですので、ちょうどこの10月で5年を経過します。また、岐阜バスさんにおいては、穂積リオワールド線が運行されております。そのような中で、議会や一般の市民の皆様から見直しを含めた様々な要望等がでてきているところです。停留所の間隔を狭くとか、買い物・ショッピングに行けるような運行をしてほしいとか、また、病院や、団地の中へも入れてほしいとか、通学に遠いところにも停留所をと、いろいろあります。

そのような中で、私としましても、市民の足として、交通弱者の移動をなんとか良いたちで確保したいという思いを強く抱いております。市民生活の視点で取り組んでいきたいと考えています。皆様のお知恵を結集して、瑞穂市の公共交通の体系がうまく構築できるよう、是非ともよろしくお願い致します。皆様の格別のご指導・ご協力をいただきますことをお願い

申し上げます、私の挨拶にかえさせていただきます。

4. 瑞穂市地域公共交通会議の設立について

(事務局)

地方自治法第138条の4第3項におきまして、「普通地方公共団体は執行機関の附属機関として自治紛争処理委員、審査会、審議会、調査会、その他の調停、審査、諮問又は調査のための機関をおくことができる」とあり、当市としましては平成20年12月議会において、この瑞穂市地域公共交通会議を附属機関として上程しました。したがって、瑞穂市附属機関設置条例に基づき、会議の運営をさせていただきます。

5. 会長、副会長の選任について

(事務局)

会長及び副会長は、瑞穂市附属機関設置条例第7条の規定により、委員の互選により定めることになっています。立候補または推薦がありましたらお願いしたいと思います

〈立候補・推薦なし〉

事務局の方から提案させていただいてもよろしいでしょうか。事務局案としましては、会長に岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授の倉内委員さん、副会長に瑞穂市商工会会長であります迫田委員さんを推薦したいと思います。皆さんいかがでしょうか。

〈全員一致で賛成〉

倉内委員、迫田委員、ご承諾いただけますでしょうか。

〈承諾〉

それでは、当会議の会長は倉内委員、副会長は迫田委員と決定いたしました。

本会議の出席者は13名で、附属機関設置条例第8条に定める委員の過半数以上の出席を満たしていますので、会議は成立しました。

ここからの議事進行は、同条例第7条第3項にしたがい、会長である倉内委員に議長をお願いします。

(会長[議長]) 只今、会長を仰せつかりました岐阜大学の倉内です。

地域公共交通会議の趣旨は、先ほど市長からご説明いただいたとおりで、地域の公共交通はトップダウンより住民の方々の実情をふまえて地域で作りあげていくものであると思います。そういった中で、このような会議は、地元の声、利用者の声を吸い上げながら、いかにうまく反映していくかを交通事業者の方、道路管理者の方、交通管理者の方をはじめ、みんなで議論していく非常に重要な場であると考えます。

私自身は社会基盤工学科ということで交通工学を専門にしています。その視点から、いろんなアドバイスをしていきたいと思いますが、地元ということに関しては、私よりも皆さんの方がよくご存知ではないかと思えます。そういった意味では、どちらかというコーディネーターに徹したいと考えていますので、よろしくをお願いします。

6. 議事

(会長[議長])

まず、瑞穂市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づいて、この会議を公開としてよろしいかどうかお伺いしたいと思います。いかがで

しょうか。

〈全員、異議なし〉

それでは、この会議は公開とします。今日は、傍聴の希望がないので、このまま引き続き進めます。

議事に入る前に3点ほど審議をお願いします。1点目が会議録を全文筆記とするか要点筆記とするか、2点目が発言した委員の名前を会議録に記載するかどうか、3点目が作成した会議録の確認方法について、です。

この3点について、何かご意見、ご質問はありますか。ないようでしたら、事務局から提案をお願いします。

(事務局) 3点の審議の中で、会議録の作成方法ですが、要点筆記とさせていただきます。それから、2点目、発言委員の氏名公表について審議をお願いします。3番目の会議録については、会長さん、副会長さんに確認していただき、了承を得てから公開としたいと思います。

(会長[議長]) 2点目の委員の方々の発言についての氏名公表ですが、どちらがよろしいでしょうか。これは氏名公表ということでもよろしいと思いますが。

〈全員、異議なし〉

2点目については氏名公表ありということで、1点目、3点目ですが、1点目は要点筆記に、3点目の会議録は、会長、副会長の2人で確認することでもよろしいでしょうか。この件、賛成の方は挙手をお願いします。

〈全員、挙手〉

では、1、2、3点全て事務局の提案どおりで進めたいと思います。それでは議事の方に入りたいと思います。

(会長[議長]) 議事(1) 地域公共交通会議について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) **資料1**をご覧ください。こちらについては、本日まで出席いただいております中部運輸局岐阜運輸支局 福田委員さんに説明をお願いしていますのでよろしくをお願いします。

(福田委員) 岐阜運輸支局の福田です。地域公共交通会議というものがどういったものかということについて、若干説明させていただきます。

地域公共交通会議という言葉をお聞きになる皆様もいらっしゃるかもしれませんが、地域公共交通会議が必要性を帯びてきたその背景からお話をさせていただきます。まず、バス、タクシー、トラックもそうですが道路運送法等の法律に基づいてその事業が定められ、実際の地域で運行されていますが、規制緩和の流れの中で参入あるいは退出というのが、ほぼ自由化されてきたということです。そのような中で、少子高齢化社会により、例えば、定期バスの利用者がどんどん減ってきている。減ってきているということは、すなわち経営基盤が弱い。弱ってくるということは、その路線の維持ができかねる。そういったことによって、道路運送法の今回の規制緩和という部分が非常に関わってきているのです。

地域の足をどのように守っていくかについて各市町で取り組んでおられますが、コミュニティバスのような自治体が主体となった交通手段をまず考えていく。ただ、走らせておけばいいというのではなく、どのような改

善策をもっているか、また、財政面についても、それに投入できるお金は各自治体で限られますので、その中でこういった最良の方策を見出すか、あるいはサービスレベルをどこにおくかを、それぞれみなさんが委員の立場で議論していただくのが地域公共交通会議であります。

では、お手元のパンフレットについて、説明させていただきます。

＜パンフレット説明＞

それぞれの地域住民の方々、あるいは利用者の方々、他自治体等からこちらに対して出されるご意見・ご要望に添えるか否かという部分については、様々な要件がありますので、どのように取捨選択をしていくか、あるいは、それを実行に移すにあたってはこういったシステムが必要になってくるか。これは交通事業者さんがノウハウを提供していくこととなります。

この会議の中で合意をしていくわけですが、先程も説明がありましたように公開が原則ですので、それぞれの立場を踏まえつつ、瑞穂市の公共交通をよりよくしていくという責任は、委員の皆様方が平等にもっているという認識をしていただきたいと思いますと考えております。

地域公共交通会議の中で議論して、皆様で合意を得たものについては、中部運輸局の手続きを簡略化することが可能になるというメリットがあります。四角四面な審査ではなく、それとはまた違った弾力的な取り扱いができるというメリットがありますので、そういったところも十分に活用していくことも必要です。構成員とその役割については、それぞれのお立場でこういったことをお力添えいただくかということが書いてあります。あとでご覧いただければと思います。

具体的にこういった議論をしていくのかですが、具体的な協議内容として、運行形態、運賃、こちらはワンコインの運賃を利用されていますけれども、果たしてワンコインがいいのかどうかという議論も当然出てきてもいいのではないかと考えています。また、路線をどういう風に引いたら一番いいのか。あるいは、時刻等もいろいろな交通機関との結節について知恵を出しつつ、より使いやすいものにしていく。結局、せっかくの交通システムを準備しても住民の方々が利用しにくいものであっては全く意味の無いものですので、運行計画を準備していくということです。

簡単ですが、公共交通会議の説明を終わります。

(会長[議長]) 今、ご説明がありましたとおり、地域公共交通会議は、道路交通法の規制緩和から、特に自治体の積極的な関与が重要視されて出てきたものではないかと考えています。やはり、地域のニーズにあったということが出てきていますが、それを実現するためには瑞穂市自身が中心となって、住民の声を聞き、取り入れていくことが必要と考えます。特に重要な点が、路線バスとの競合によってうまくいかなることがよく言われていることです。コミュニティバス等に関する一番悪い例というのは、結局コミュニティバスをやることで、それが路線バスを圧迫してしまい、撤退してしまう。気が付くとコミュニティバス自身に非常に経費がかかってしまい存続が難しくなって縮小せざるを得ない。このような悪循環が一番危険視されます。コミュニティバスだけの議論よりも、その他の交通機関との議論、鉄道とも結節し、路線バスとのバランスを考えながら議論できればと思います。

それでは今、ご説明のあった地域公共交通会議の趣旨にしたがって、こ

の会議を進めることとし、具体的な内容に入っていきたいと思います。

議事（２）瑞穂市の地域公共交通の現状について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）

資料 2の説明

・瑞穂市の現状

瑞穂市の位置、地勢、沿革、概要、面積、人口、人口ピラミッド、高齢者人口（外国人含む）の推移、運転免許保有者数の推移地域別の年齢構成の特徴、各種データ

① J R穂積駅の乗車人数の推移

②樽見鉄道の駅別乗降客数の推移

・瑞穂市の地域公共交通の現状について

市が運営する交通機関

民間が運営する交通機関

個別交通機関

（小窪委員）

幼児は無料ですか？

（事務局）

はい、未就園児は無料です。それ以上の方は100円です。

（小窪委員）

高齢者の方はどうですか？

（事務局）

高齢者の方は普通に100円いただいております。

（会長〔議長〕）

1つだけ私の方からお願いです。

先程の地域公共交通会議の説明のところで、路線バスとコミュニティバスの競合という話をした関係もありますが、路線バスがどこを走っているかが図の中には見当たりません。やはり、議論するときにはそういったものも一緒に見たほうがいいのかと思いますので、準備をお願いします。

説明では、非常に人口密度の高い地域と人口が若干まばらな地域があるということなので、運行条件は悪くないと言えます。非常にコンパクトな市でもあるので、運行の仕方によってはうまくできる地域ではないかと私自身は考えています。

続いて、議事（３）みずほバスの運行状況について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）

資料 3の説明

・瑞穂市コミュニティバス「みずほバス」の概要

運行の目的、導入の歴史、委託先、乗車賃等、バスの特徴、主なバス利用者、運行ルート

・みずほバス等乗降客調査・結果報告書

このデータについては、今後、長期の計画を策定していく上で停留所の位置、路線を相互的に考えて妥当かどうかを判断するために、このデータをあげていますので、また、その際に参考資料として用いる予定です。

次のページです。グラフが並んでおりますが、先程の調査における各

便の利用者数をグラフ化したものです。

以上のような調査結果がでておりますけれども、今後の計画の中で朝の便を増やすであるとか、夕方の便を増やすであるとか、停留所の配置、路線の変更について議論をする際には、この資料を参考に使えればと考えていますので参考にご覧いただければと思います。

- ・バス運行等に対する市負担額の推移
- ・「みずほバス」への質問・要望事項

現在、この様なかたちで、みずほバス3路線、穂積リオワールド線を運行しているわけですが、この状態で運行を始めて、5年が経過しております。その中で、道路が整備されたりとか、公共施設も建ってきております。それらを考慮して、路線変更等を考えていくこともこの会議で議論していくところですが、検討をしていくにあたり、住民の方や様々な団体の方から、みずほバス等への質問、要望事項をいただいております。今後の課題とも言うことができると思いますので、主なものだけ触れたいと思います。

- ①プラント6（大型商業施設）にもバスを廻して欲しい。
- ②セルフ豊住園（小規模授産所）のなるべく近くにバス停を設けて欲しい。
- ③最低1時間に1本の運行するよう増便してほしい。買い物、通院に特化したバス停を新設してほしい。
- ④プラント6に行くならいつかという具体的な計画を教えて欲しい。

というものが挙がっております

このように多くのご意見をいただいておりますが、まず瑞穂市のみずほバスとしましては、早急に直していきたい所があります。

本田馬場線の三興紡績という停留所ですが、本田馬場線における一番北側の停留所です。昔、三興紡績がございまして、現在は開発が進んで宅地のほうがどんどん造成されています。したがって、停留所名の変更を考えていきたい。同じく穂積リオワールド線ですが、唐栗農協前という停留所がありますが、実はもう唐栗農協はなく、更地になっているので、停留所名の変更が必要だと思っております。

さらに、見ていただければわかるとおり、全ての線はJR穂積駅へつながっています。ダイヤが改正してから5年が経っておりまして、JRの列車の発着時間と連動していない部分が見受けられます。したがって、それに合わせたみずほバスのダイヤ改正等も考えてはいかなければならないと思っております。

もう一つ、新しく瑞穂市に犀川地区という地区が入ってまいりまして、先ほど、要望事項の中にもプラント6という名前が出ましたが、この地域は先月末に大垣市、安八町との境界が画定しまして、いよいよ瑞穂市として位置が定まり、土地区画整理事業により宅地開発が行われてきた土地です。現在は150世帯、約500名の方が住んでみえますし、大型商業施設（プラント6）があります。まだまだ土地が空いていますので、今後さらなる人口増加が見込まれる土地です。

実は、区画整理を行うときに、平成17年11月に区画整理組合の理事会の中で、道路工事を行う際、既にバス停が置けるように工事がしてあります。バスが通ることを見越して、組合のほうで工事がされていまして、当時の会議録を見ても、将来、バス停を設置してほしいというこ

とが理事会の中でも話し合われています。したがって、唐突ではございませんけれども、なぜ、プラント6かというとなそのような事情がありまして、今お話をさせていただいた次第であります。

(会長[議長]) かなり盛り沢山の内容で、すぐ全てが理解できるものではないですけれども、どの資料からでも結構ですので、皆さんから質問がありましたらお聞きしたいと思います。

(山田委員) 3点ほどお尋ねします。

一つは、穂積リオワールド線ですけど、この線は市役所が岐阜バスに委託しているという話でしたが、市役所がやる意味があるのでしょうか？いろいろなしごらみや経費があるとは思いますが。

二つ目に乗降客数をみてみますと、ほとんどリオワールドへ行く人の利用といってもいいぐらいですよ。となれば、リオワールドからなんらかの寄付金か何かをもらってもいいように思うのですが。

あともう一つ、牛牧十七条線ですけど、朝日大学の病院前に停留所がないですが、朝日大学の病院に行かれる方というのは少ないのですか。JR穂積駅から朝日大学に行く学生バスが運行していますが、JR穂積駅に行けない方、それ以外の地域の方が朝日大学の病院にかかりたいと思った場合に、朝日大学病院の目の前にバス停があったほうがいいんじゃないかと思うのですけれど、朝日大学の病院は、発足は歯学部ですけど、歯科以外にも各診療科目があるので、結構、地域の方も行きたい方がいるのではないかと思うのですが。以上の3点です。

(事務局) 穂積リオワールド線からお答えします。市役所には、運賃による収入はなく、負担金を払って運行しているということです。路線図を見てもらえればわかるとおり、単純にリオワールドまでつないでいるというよりは、市の交通空白地帯を網羅しているということもありますので、そういった意味を持った一部負担金ということになっています。本来でしたら、穂積・リオワールド線は路線バスですので、乗車料金の方も距離によってどんどん上がっていくのが普通です。その分の差額というわけではないですが、その分を市の方で負担しようということで、このような路線図になっています。市の北西部をカバーするということで、岐阜バスさんと連携して運行してもらっているということです。お答えになっているかどうかちょっとわかりませんが。

牛牧・十七条線の朝日大学及び同病院への結節ですが、こちらは少し説明不足で申し訳ありませんでした。朝日大学のスクールバスがJR穂積駅前から朝日大学をつないでおります。こちらは学生のみではなく、病院へ行かれる方も乗っていただくということで運行しています。

当初は朝日大学へも、当時のほづみバスは乗り入れしていましたが、スクールバスが走るということを受けて、牛牧・十七条線は、それまで運行していなかった穂積地区の方を回ってJR穂積駅まで行く路線へと変更しました。したがって、朝日大学の方は、コミュニティバス路線からは、外させてもらったという経緯があります。

(山田委員) 要望になりますが、みずほバスは公共施設を中心につないでいますよね。

ショッピングセンターとか病院というところも入れて、どの線のみずほバス乗れば、どこに行けるのかを住民の皆さんに一目でわかってもらえる図面を今後開発してほしい。現在の路線図だと、病院はどこにあるのか、ショッピングセンターはどこにあるのか、全然わからない。住民から見てわかりやすいマップを、次回作るときには心がけてもらいたい。そして、当然にバス停もそのような場所に見直してもらいたいです。

それから穂積リオワールド線ですけれども、どうしてリバーサイドモールにバス停がないのか。

それから朝日大学の件ですが、インターネットの情報ではスクールバスとしか書いていないので、朝日大学にちゃんと頼んで病院の方も一緒に乗ってもらえます、と一言入れてもらったほうがよいのではないかな。そういったことを朝日大学にお願いするのも一つの方法だと思います。

それから、運行の目的で子ども等となっていますが、子どもは基本的には一人で乗らせるのはだめなわけですよね。そうするとスクールか何かをやっているのですか、スクールバスに乗って通うということは基本的にはやってないのですか。各小学校へ通うためにバスに乗るというのはわかるのですが、そうでないならば、やはり「子ども等」ではなく、日常生活で自家用車がない人が基本になるのではないかな。そうした場合、先程のショッピングセンターや病院を入れるのがいいのではないかな。

(事務局) ありがとうございます。路線図については、もう少しわかりやすいものを作成していきたいと思いますので、ご意見を参考にさせていただきます。

それから、子どものバス乗車の件ですが、基本的には親と一緒に乗ってもらうこととなりますが、社会見学等で小学校や保育所の児童生徒に乗ってもらっている経緯もあります。それには、みずほバスを知ってもらい、乗ってもらう機会であるという意味もあります。

(山田委員) もう一つ本田・馬場線は、朝夕の通勤・通学で利用する人が多い。通勤通学を目的にするのか。病院での利用を目的にするのか。ショッピングでの利用を目的にするのか。路線によって性格が異なると思います。つまり、利用の目的をはっきりさせた方が、あれもこれもということになってくると路線を引くのが大変だと思います。

(富田委員) 穂積・リオワールド線の件についてお話しします。市に負担いただいている520万円の負担金をお客様の数で割った数字になっていますが、この路線は、この金額以上の赤字が出ています。実際に、バスを1キロ動かすのに320円ほどの運行経費がかかります。つまり、一日辺り3便減便しましたのは、少しでも赤字が解消しようということで、あまりご利用いただいていない便をカットしたというのが趣旨ですので、決して儲かっているわけではありませんので、その辺りのご理解をお願いします。

(会長[議長]) 私もご確認しようと思っていたところで、ここに書いてあるのは市の負担に対してどれくらい乗車があるかですので、運行経費との関わりという意味では、先程、説明のあったとおり、運行距離に対して単価をかける方がその額というのはおおよそ見えてくるということですね。

もう一つ確認ですが、利用者の支払われる料金との関係が見えてきてい

ないですが、利用者の料金は事業者さんの方にそのままお渡しして、なおかつ市負担額という形で運営されているという理解でよろしいんですね。

(富田委員) そういことです。

(会長[議長]) つまり、利用者人数×100円が市の負担金にプラスして入っていると考えればいいんですね。

非常に重要なご意見をたくさんいただいていると思うのですが、後で総括することとして、他に何かありませんでしょうか。

できれば、住民の方、利用されている方からコメント等があればと思いますが。

(宇野委員) 女性の会の宇野です。女性の会において、会の皆さんにお尋ねしてみました。そうしたら、朝日大学病院へ通ってみえる方が大勢ありました。その中で、みずほバスでJR穂積駅まで行って、朝日大学のバスは頻繁にでているから、それを利用して病院の方で予約し、みずほバスの時間帯にあわせた予約をして帰ってくる。やっぱりみずほバスは必要であることを強調される方がありました。

それと、病院の近くに停留所がほしいという意見もありました。瑞穂市内は病院がすごくできました。歯医者さんにしたり、クリニックにしたり、そのどこの病院にとめていいかはわかりませんが、病院にとめてほしい。

また、バス停の表示をもう少しはっきり書いて欲しいという要望もありました。

今現在は、自家用車で運転しているけれども、行く末は公共交通機関を使いたいので、1キロ走るのに幾らの経費がかかるということですがけれども、住民の立場では、これだけ詳しい説明をどなたもご存知ではないので、便利であってほしい。常に便利さを要求しているということでした。

そして、ほづみ園までバスが行っているのに、なぜプラント6まで行かないのかという意見もありました。そのような話を聞いて参りました。

(会長[議長]) ありがとうございます。今のコメントも一つひとつは非常に小さいことかもしれないですが、利用に関しては非常に大きい意見ですので、参考にできればと思います。他にいかがでしょうか。

(西村委員) 老人クラブの代表です。私ども隔月か3ヶ月に1回程度、会議があります。合併前の旧穂積町と旧巢南町が一緒になっていますので交互に会議もっています。そうしますと、免許証を持っていない方がいますので、会議の時間には何とかバスを利用できるが、会議が終わってから帰るのが大変ということがあります。そういう時間帯でも乗れるバスが必要であるという意見があります。その辺り、お願いしたいと思います。

先程のプラント6についても意見が出ました。せつかく大型商業施設があり、リオワールドの方にも停留所があるので、早く停留所を設置してもらえればありがたいとそんな意見もありました。

(会長[議長]) 先程、質問いただいた中で、リバーサイドモールはどうして行かないのという点がありましたが、その辺りは、どうでしょうか。

(事務局) リオワールドからリバーサイドモールへ行くバスは、リバーサイドそのものが運営をしていますし、これは岐阜バスさんとの関係でバスが運行しています。また、リバーサイドモールは、本巣市でして、以前は平日も運行していましたが、経営状況等の影響により今は土日だけになりました。これもやはり赤字解消のためにもう限界にきたということで、これは瑞穂市とは関係ない地域です

さらにリオワールドについても、地図でみてもらえればわかりますが、本巣市であり、瑞穂市ではないのですが、地域を越えて、みずほバスとしての位置づけ、ワンコインバスとして520万円を負担することで、みずほバスの利用者と同じように100円の負担で利用できるよう岐阜バスさんと調整をして現在に至っています。

もう一つ、先程の質問がありました朝日大学のスクールバスの件ですが、お手元にインターネットから出したものがあるかと思いますが、ここを読んでいただきますと無料スクールバス運行中の下に『学生さんだけでなく患者さんでもご利用いただけます。』ということが書いてありますので、PRはしてあるということで理解しています。運賃のところを見ていただいても無料とあり、かつこして大学に来られる方なら誰でも利用できますということが書いてありますので、ご理解をお願いします。

(会長[議長]) ほか、いかがでしょうか。では、これまで説明お聞きして、私自身感じたことを少しコメントさせてもらいます。

まず最初に、資料3にある運行目的ですが、これは非常に大事でいいことが書いてあると思います。しかしその一方で、当然のことながら運行経費というものは避けて通れない問題です。それを軽減していく工夫というものが必要ですが、この3つの運行目的を忘れないようにしながら、議論を進めていきたいと思っています。

あとは、現在の路線図です。こちらを見ますと、合併があつてということかもしれないですけども、もう少しうまく運行できそうなところもあるのではないかと見ています。特に、牛牧・十七条線が本田地区の方にも伸びていたりしているところは、もしかすると、もう少し整理ができるのではないかと。先程、委員の方からも、それぞれにバスの乗り方が違いますし、利用目的も違いますから、それぞれを整理してというようなお話もあったかと思っています。そのあたりを今後の会議の中で議論ができればとも考えています。

その一方で逆に言えば、現在運行していない時間に合わせれば、今利用していない方の需要を拾える可能性があるとも思います。もちろん、先程の本来意義を考えた上で、どこに重点を置くかということが重要になってきますが、そういったところも見ながら検討していく必要があるに思っています。

また、はじめの福田委員の説明にもあったように、今ワンコインで運行していますね。それに対して、年間の経費は非常に大きな負担になっていますので、果たして、本当にワンコインである必要性があるのかも考えなければなりません。これは、もちろん、ここだけで決めるわけではないの

ですが、そういった議論もできればと考えています。議論した結果、ワンコインで運行する、のでも全然問題はないと思いますが、議論すること自身が非常に重要であると思っています。

あとはマップです。これは非常に重要であると私も思って聞いていました。一つは、路線図の中に、ここにショッピングセンターがある、ここに病院がある、そこでは、こんなところを診てもらえるというような情報を入れることは利用者にとって非常に有益であると思います。市民の皆様が移動するということは、何か目的があるわけで、その目的の中でも病院へ行くとか、ショッピングに行くということが主たる目的であるならば、そういうものを路線図に記述してはいかがでしょうか。それは、路線図ではなく、都市の生活のためのマップになるのかもしれませんが。都市内での水平移動のためのツールとして、コミュニティバスがあるというスタンスをとったほうが非常にいいのではないかと思います。その中で、先程の朝日大学の無料バスも絡めて、うまく調整すれば、このマップ上に載せることもできると思います。また、先に少し路線バスの話もありましたが、利用者の目から見て、この路線を使ったらいくらで、どの方面へ行くということがわかれば、非常に便利なわけですから、複数の移動手段が一緒に乗っていても、明確なかたちで載ってればいいのではないかと思います。そのあたりも検討してもらえればと思います。

特に先のショッピングセンターの件では、リオワールドに若干の資金援助をお願いしてはというお話も出ましたが、最近は、病院やショッピングセンターの広告をうまく使いながら、少しでもご資金面で協力してもらおうといったやり方を検討している市町村も多くありますので、このマップをもうちょっと拡大して、そういったところも盛り込んで考えていくことは非常に可能性があるかと、今日の議論を聞いていて私自身感じています。

このマップについては、非常に重要であると思いますので事務局でも検討してもらえればと思います。ほか、ご質問、ご意見はございますか。

少し紹介いたしましたが、路線の変更、路線の修正については少し時間がかかる話かなと思います。その一方で、バス停の名称変更の話であるとか、プラント6まで延伸の話というのは、早急に対応しなければならないという認識をもちますので、その2つは、わけて考えていきたいと思えます。それも絡めてですが、続いて今後のスケジュールについて話を進めたいと思います。

(事務局)

資料4の説明

・今後の予定

本日、第1回、12月に第2回、1月に第3回。2月、3月に調整をして、平成22年4月に新路線図・時刻表で運行開始の予定です。

先程、議長からも話がありましてとおり、短期の計画ともしっかりとした大きな視点での長期の計画がありますので、そこは切り分けて考えたいと思っています。

今回の予定は、短期のもので、とりあえず必要なところを最小限変更して運行することを前提に、進めさせてもらえればと思います。

(会長[議長])

ありがとうございます。このスケジュール表は、短期での予定であるとのこと。このスケジュールについて、何かご意見はございますか。

(福田委員) 12月の第2回の会議で、改正点の提案、そして、1月に会議を行い、そこで確認、決定するということですが、その後、2、3月での運行実施に関する各種手続きと、私どもと運行事業者である岐阜バスさんとの協議が必要になってくるのですが、私どもからお願いしたいのは、これらの協議は前倒しで行ってほしい。1月の地域公共交通会議では資料の確認のみというくらいにしておくことにして、決定はしないにしても進めておいて、修正点等を直すのみにしておかないと間に合わないと思います。

それから各種手続きについては、1月末までをめどにお願いしたいと思います。したがって、同時並行で進めていくようなかたちになるかと思えます。よろしく願いいたします。

(会長[議長]) ありがとうございます。よろしいでしょうか。

(山田委員) 開催の案内には、みずほバスに関するアンケート案がありました。これは今後、スケジュールと平行して実施して、このアンケートの意見を新しいバス路線に活かすという趣旨で、この開催文書を出されたのでしょうか。

アンケート案の位置づけということで、やるかやらないかは別にして説明をお願いしたい。

(事務局) 行政によるアンケートを行うのであれば、やはり長期の計画での運行に向けて実施していきたい。そうしますと、やはりアンケートの内容が重要になってきまして、どのような趣旨で、どのようなことを聞くのか、そういったことも今後の会議の中で事務局側から提案して、協議いただきたいと思いましたので、今回、議題が変更になっており、ご連絡が遅くなって申し訳ありませんでしたが、アンケートについては、今後の長期計画の方で改めて議題として上げさせていただければと思います。

(会長[議長]) スケジュールについては、各種手続き及び協議を、もう少し前倒ししていくということでもよろしくお願いいたします。アンケート調査については、おそらく長期計画の中で、こういった位置づけにしていくのかということの今後の会議の中で議論していくということにいたします。

(福田委員) 先程の話に付け加えますが、1月の会議をする前のある程度の路線図の絵が見えてくると思いますが、これについて私どもとの協議もありますが、公安委員会さんや道路管理者さんとの協議を必ず済ませておかないと手続きが滞ることがあります。よろしく願いいたします。

(山田委員) 先程の話だと、プラント6の件と停留所の名称変更等は、4月じゃなくてもっと早目にやりたいということですか。

(会長[議長]) 4月までにその件を考えて、その先の大きな変更については、また議論するということだと思います。

では、議事(5)その他ということで事務局の方からお願いします。

(事務局) その他としまして、「瑞穂市地域公共交通会議に関する意見等につい

て」という紙を1枚入れさせていただいています。こちらについては、この会議で活発な意見等いただいていますので、参考にさせていただき、今後の会議に活かしていきたいと思っておりますが、何分、今回の資料が盛り沢山で事務局からの説明ばかりになってしまったきらいがありますので、職場等へお戻りになられ、再度見直していただいたときに、これはこうしたほうがいいんじゃないかとか、こういうことが考えられるんじゃないかとか等、もし、そのような意見、案等があった場合に、こちらの用紙を使って、FAXやEメールにてお寄せいただければ、第2回の会議に向けて活かしたいと思っております。どのようなことでも結構ですので、事務局までお願いします。

(会長[議長]) ありがとうございます。スケジュールの方で、1点確認をしておきたいのが、先程の時期の話です。まずは、プラント6の件あるいはバス停の名称変更もありますが、まずは次の4月に向けて議論を進めることを短期の目標というかたちに位置づけて、路線再編あるいは乗り継ぎ、バス停を増やす減らす、これはどちらもあるかもしれないですが、そういった件については比較的中長期というか、少し先の長い議論ということで、その後に進める、そのようなスケジュールリングをしたいと思っておりますが、それで、皆様、よろしいでしょうか。

<異議なし>

はい、では、そのように今後スケジュールを進めたいと思っております。

ほか、全般にわたって、何か言い忘れたことがあるというような方があれば、お願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、今日の議題の方は全て終了ということになりますが、次回の開催について、いつがよろしいでしょうか。先程のスケジュールどおりということでもいいでしょうか。よろしければ、事務局の方から提案をと思うのですが。

(事務局) 12月の下旬ごろと考えておりますが。皆様のご都合はいかがでしょうか。

<日程の協議>

(会長[議長]) 次回、第2回の会議は12月24日の午前10時からに決定します。これで、本日予定していました議題は終了ということで、事務局へ進行を戻します。

7. 閉会

(総務課長) 本日は、熱心な議論をしていただきありがとうございます。これをもって、第1回瑞穂市地域公共交通会議を閉会いたします。